

## 平成 20 年度 教育福祉学会報告

平成 20 年度は、大谷女子大学として入学した学生たちを送る最後の年となり、卒業式に歌った最後の  
大谷女子大学の学歌は、感慨深いものがありました。締めくくりに年をふさわしく、各行事も充実し、学  
会のますますの発展を予感させるものとなったことを報告いたします。

教育福祉学会の一層の発展のために、昨年に引き続き、学生委員を中心に企画・運営をすすめてきま  
した。事前の打ち合わせでの積極的な話し合い、行事終了後のアンケートをもとにした改善のための意見交  
換、あるいはまた講師の先生方とお話しする機会を設ける中で、次なる行事に向かう意欲がわき上がる  
という、よい連鎖が生まれました。

その結果、参加者アンケートの意見欄にも「有意義だった。」「また企画してほしい。」「自分も学生委員  
として参加したい。」などの意見がみられ、次年度へつなげる手応えとなって返ってきています。

教育福祉学会は、学生諸君と教職員を中心に構成されています。大多数を占める学生諸君にとって、よ  
り身近で、より実りの多い学会となるようこれからも工夫を凝らしていきたいと考えています。

最後に、学会・セミナー開催にあたり、ご協力いただきました講師の先生方、ご紹介・ご発表いただ  
いた本学の先生方や学生諸氏、企画運営に積極的にかかわって下さった学生委員や、陰ながらいつも手を差  
し伸べてくださる助手さんに感謝し、学会行事の詳細を以下に報告いたします。

〈学会行事担当：竹本、大概〉

### 平成 20 年度 教育福祉学会行事

#### 《学会セミナー》

##### ◇ 第 1 回 5 月 17 日（土）13：00～14：30

演題：「小中学生への〈現場で使える〉書き方指導

－硬筆の教え方のポイントや授業のアイデア教えます－

講師：橋爪 秀博氏（大阪市立玉出小学校指導教諭・大阪市教育研究会国語部書写委員会幹事）

場所：1-109 教室

既に何度も学会セミナーの講師をお願いしている橋爪先生に来ていただき、今回は「硬筆指導」につ  
いて、ポイントを押さえた指導をしていただきました。実際に文字を書くことを通して、正しい鉛筆の持  
ち方、姿勢などを教えていただきました。指導者としてだけでなく、文字を書くことは社会人としても必  
要不可欠です。参加者からは、「とても充実した時間だった。」等の声が上がっていました。

##### ◇ 第 2 回 6 月 4 日（水）10：40～12：10

演題：「自然から学ぶ美しい書」

講師：宮下 寛昇氏（當麻寺宗胤院住職）

場所：カトリアホール

関西を代表するお寺の一つ、當麻寺より、宮下先生をお迎えして、「書」を中心に、自然界や美術界と

関連させたお話をさせていただきました。普段何気なく書いている文字も、その起因や他の世界とつなげて考えた時、味わい深さが増しより一層親しむことができるのだと感じるとともに、「美しさ」について深く考えるひとときとなりました。宮下先生のお人柄が表れる優しい口調に参加者も聞き入っていました。

◇ 第3回 11月5日(水) 10:40~12:10

演題：「現場から学ぶ児童英語」

講師：八木 博史氏（摂津市立三宅柳田小学校教諭）

場所：カトリアホール

実際の教育現場から、新進気鋭の八木先生にお越しいただき、最先端の「児童英語」の実態についてお話をさせていただきました。これまでなかった「児童英語」を実践されるにあたって、工夫や苦労話など、地に足をつけたお話に、意欲的に学ぼうとする参加者の姿がありました。特に、教育実習や教員採用テストを目前にしている学生から、質問が相次ぎ、充実したひとときとなりました。

《教育福祉学会》

◇ 第59回 10月1日(水) 13:00~14:30

演題：「五感ではぐくむ子どものころ」

講師：岩倉 政城氏

（尚絅学院大学・女子短期大学部保育科教授・同付属幼稚園園長／新日本医師協会会長）

場所：カトリアホール

平成20年度の秋の学会には、子どもの成長発達に関わる職業をめざす学生が多い、本学部のニーズにぴったりの岩倉政城先生にお越しいただき、子どもの体と心の成長についてお話をさせていただきました。

子どもの成長を見守り、それを促すことの大切さ・大変さを実感できたひとときとなりました。また、体の成長と心の成長の関係について考え直すよい機会になり、大学で学んだことを再確認できた参加者が多かったことが、学生のアンケート結果に示されました。

◇ 第60回 2月7日(土) 13:00~16:30

第1部 退職記念講演

高村 博正先生「生い立ちの記」

第2部 卒業研究発表

〈口頭発表〉

1. 高崎真奈美（長瀬ゼミ）「子どもと大人の境界線  
－小・中・高・大生の実態調査をもとに－」
2. 上村 友美（岡部ゼミ）「“dl（デシリットル）”を教えることは必要か？  
－体積とのつながりを考えたかさの指導－」
3. 山添 弥生（岡部ゼミ）「分数の除法のつまずきと指導法について」
4. 山中さやか（小谷ゼミ）「物語絵本の読み聞かせ刺激に対する幼児の月の形状認識の変容に関する基礎的研究」

## 5. 陶山 朋子（小谷ゼミ）「幼児及び児童の光認識に関する基礎的研究

－光源からの光の進み方についての認識を事例として－

〈ピアノ演奏〉

當麻 彩香（植條ゼミ） リスト作曲 パガニーニによる大練習曲

第3番 嬰ト短調 「ラ・カンパネラ」

〈卒業制作展〉

竹本ゼミの卒業制作（油彩画）を志学館1階に展示

毎年、春の教育福祉学会では、ご退職になる先生のお話と、ゼミ担当の先生から推薦された優秀な卒業論文の発表を行っています。

第1部の退職記念講演では、高村先生から、趣味のお話を交えた先生の半生記をお聞かせいただきました。教職員も知らなかったような、多彩なご趣味をお持ちで、それを画像を交えて披露していただき、楽しいご講演となりました。

第2部の卒業論文の発表会では、本年度はピアノ演奏の実技も交え、各分野から選りすぐりの発表がなされ、参加した在学生にとって、自身の卒業論文を考える上で大変参考になったのではないかと思います。

### 《教員採用試験支援セミナー》（学会・学部共催）

1. 「これから教職をめざす人へ」鍛冶 彰氏（池田市立池田南小学校校長）
2. 「今、求められる教員の資質」太田清和氏（大阪市立南小学校校長）
3. 「教職支援セミナー」岡部恭幸・長瀬美子（教育福祉学部）
4. 「教職教養」開沼太郎（教育福祉学部）
5. 「教育時事」開沼太郎（教育福祉学部）
6. 「小学校全科－社会」外山義正氏（堺市教育委員会）
7. 「小学校全科－数学」岡部恭幸（教育福祉学部）
8. 「小学校全科－理科」小谷卓也（教育福祉学部）
9. 「国語・英語」笹川博司・高村博正（教育福祉学部）

### 平成20年度 教育福祉学会運営状況

- |     |       |            |       |          |
|-----|-------|------------|-------|----------|
| 4月  | 学会委員会 | 学会委員募集     | 学会費徴収 | 教育福祉学会総会 |
| 5月  | 学会委員会 | 第1回学会セミナー  |       |          |
| 6月  | 学会委員会 | 第2回学会セミナー  |       |          |
| 10月 | 学会委員会 | 第59回教育福祉学会 |       |          |
| 11月 | 学会委員会 | 第3回学会セミナー  |       |          |
| 12月 | 学会委員会 |            |       |          |
| 1月  | 学会委員会 |            |       |          |
| 2月  | 学会委員会 | 第60回教育福祉学会 |       |          |

平成 20 年度 教育福祉学会学生委員

太田有香、大社千絵、福塚弘美、田中千絵、豊嶋文、春口みほ、浦田瑞希